

発行 一般社団法人

日本ダストコントロール協会

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル9階
TEL03(6802)8691 FAX.03(6802)8692発行人 山村 輝治
編集人 高橋 一夫協会HP <http://www.dust-control.or.jp/>
E-mail info@dust-control.or.jp

一般社団法人日本ダストコントロール協会 発足

この度、内閣府より一般社団法人としての認可を受け、
2013年6月3日より一般社団法人日本ダストコントロール協会として新たに発足しました。

一般社団法人への移行にあたって

一般社団法人日本ダストコントロール協会
理事長 山村輝治

会員及び関係者の皆様方には、日頃から当協会の業務運営等に対しまして格別なご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当協会は、公益法人制度改革を踏まえ、かねてより内閣府に対して新法人への移行認可手続きを行っていたところですが、この度、内閣総理大臣から移行認可の許可書の交付を受けて、平成25年6月3日(月)をもって一般社団法人日本ダストコントロール協会が発足いたしました。

厳しい環境が続く中ではありますが、新生、日本ダストコントロール協会は、業界並びに協会の発展のため、鋭意努力する所存でございますので、会員の皆様方には今後とも格別のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最近の日本経済は、少し薄日が指す気配があるものの、個人消費の低迷、各種製品の低価格化等により依然として厳しい状況が続いております。

また、ダストコントロール業界を取り巻く環境は、2012年DC市場調査で示されたとおり、厳しい状況下に置かれており、今後どのように乗り切るかが大きな課題であります。

この厳しい状況の中、会員各社におかれては、それぞれ知恵を出し合い、また、お客様への提案力を強化し、この難局に立ち向かっていかねばなりません。

そのためにも、ダストコントロール協会として業界の叡智と良識を結集し、いかに発展させていくかを考えていく必要があります。

我々は、今後ともお互いに切磋琢磨しながら、知恵を出し合い業界を発展させ、ダストコントロール業をしっかり次の世代に引き継げる業界にして参りたいと存じます。

事業の内容や会員、会費等について

新法人の概要

1 法人の名称

一般社団法人日本ダストコントロール協会

2 基本方針

・業界の更なる健全な発展、地域の活性化をめざし、公益事業を推進するとともに会員間の融和を図っていくものとする。

3 事業の内容

・従前より実施している事業を基本として、事業を実施する。(公益的事業の実施、会員間の情報交換等の事業)

4 会員

・1号正会員、2号正会員及び賛助会員で構成する。

5 会費等

- (1) 会費、入会金は従前どおりとする。
- (2) 事業年度は、6～5月とする。

6 本部組織

(1) 意思決定機関

- 1) 総会：通常総会は年1回開催する。
- 2) 総会は、1号正会員及び2号正会員をもって構成する。
なお、2号正会員の総会出席は、代議員をもって行う。
- 3) 代議員は、新設された都道府県支部会から選出し、都道府県会員数の概ね50人に1人の割合をもって行う。なお、県の会員数が50人に満たない場合でも1人は選出するようにする。

(2) 執行機関

- 1) 理事会を設置する。理事会の開催回数は、年3回以上とする。
- 2) 理事定数は、15～20名とする。
※理事構成は、別に定める。任期は2年とする。
- 3) 監事定数は2名とする。
- 4) 顧問、名誉理事は、従前どおり設置するものとし・必要に応じて選任する。

7 支部組織

・地域ブロック会及び都道府県支部会の組織及び役員分担等は次ページのとおりで。

地域ブロック会及び都道府県支部会の組織及び役割分担等

地域ブロック会及び都道府県支部会の組織及び役割分担等は下記のとおりです

地域ブロック会		都道府県支部会	
I 組織図		(県支部会)一新設—	
ブロック会名	県数	ブロック会名	都道府県支部会名
北海道	1	北海道	北海道
東北	6	東北	青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
北関東	4	北関東	茨城、栃木、群馬、埼玉
南関東	3	南関東	千葉、東京、神奈川
甲信越	3	甲信越	新潟、長野、山梨
東海北陸	7	東海北陸	静岡、愛知、岐阜、三重、富山、石川、福井
近畿	6	近畿	大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山
中国四国	9	中国四国	岡山、広島、山口、島根、鳥取、香川、愛媛、徳島、高知
九州	8	九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
計(9)	47		
II 役割分担		(県支部会…事業実施機関)	
(地域ブロック会…連絡調整機関)		1 ブロック会で配分された予算の執行 ゴミゼロ事業等各種事業の実施及び事業報告	
1 ブロック会における予算編成		2 県全体会議(親睦事業を含む)の実施	
2 " 予算配分		3 県支部会役員の選出	
3 " 決算処理		4 本部総会の代議員の選出:代議員は、県支部会員数 50人に1人の割合で選出	
4 ブロック会の役員の選任		※上記1の事業実施に当たっては、複数県合同での実施も可	
5 連絡調整(対本部、県支部)			
III 役員の選任		1 支部長 1名	
1 会長 1名		2 副支部長 若干名	
2 副会長 2名		3 会計 1名	
3 事務局長 1名		※1 県支部役員は、県支部の会員数を考慮して適宜役員数を選任	
4 役員 若干名		※2 上記役員の一部がブロック会の役員となる	
5 監事 1名			
※ブロック会は、県支部会から推薦された役員を以て構成し、運営			
IV 各種会議		1 県支部会全体会議(親睦を含む) ・年1回開催	
1 ブロック会総会 ・年1回開催(毎年6月)		2 県支部会役員会(年2~3回開催) ・事業計画案及び事業実施案の検討 ・支部ブロック会への事業報告	
2 ブロック会役員会(年2~3回開催) ・予算編成(11~12月)及び決算報告(6月) ・事業実施案の検討(含む配分)(6月)			
V 経理処理及び助成金の配布		1 経費の執行状況をブロック会に報告	
1 経理処理は、ブロック会単位で行う。			
2 助成金は県支部の会員数等を助成し配布			

「一般社団法人日本ダストコントロール協会」 平成25年度通常総会開催

去る7月4日(木)午後4時より、軽井沢プリンスホテルに於いて、新法人設立後の初の通常総会が開催された。審議では「新法人の設立及び定款改正に関する件」が第1号議案となり、新法人設立までの経緯や定款の具体的な改定案が審議された。第2号議案「第27期(平成24年度)事業報告書(案)の承認に関する件」、第3号議案「第27期(平成24年度)収支計算書(案)の承認に関する件」、第4号議案「第28期(平成25年6月1~2日)の事業報告書(案)及び収支計算書(案)の承認に関する件」などの審議が行われ、いずれも全会一致を以て可決承認された。総会終了後には、恒例となった懇親パーティーが挙行された。また、翌日5日には懇親のゴルフコンペが実施された。



山村理事長挨拶

昨年来、技術委員が中心になって、ダストコントロール製品の各種機能性能試験方法等の規格を作成し、マットに関するダスト保持性能についての評価制度が具体的にスタートする運びとなり、協会統一の規格を消費者に理解いただけることになった。また一昨より実施しているダストコントロール業務従事者指導監督者講習会も2年目に入り、受験者190名全員が合格するなど、協会のダストコントロール商品は「良い商品」であり、商品を超えるのは「良い人」である。この2つを大切に、今後も研修を積み、さらなる発展を目指したい。



山村理事長

来賓挨拶

ダストコントロール協会の皆様には山村理事長を中心に事業の拡大のみならず、住環境改善に尽力いただき感謝します。昨今、ハウスダストやカビ、ダニによるアレルギーなどの問題が生じており、これらに対して、貴業界に多大な期待が寄せられています。皆様のご健勝をお祈りし挨拶とします。



厚生労働省健康局
生活衛生課長補佐
舘内(かいち)さつき氏

第1号議案

新法人の設立及び定款改正を承認

去る6月3日(月)付けで設立登記が行われ、「一般社団法人日本ダストコントロール協会」が設立された。

新法人の設立に伴い、総会時の議決が定款代議員制に変更されるのをはじめ、2号正会員の取扱い等についても変更があり、そのために新定款の改正が必要なことから、議場は審議の結果これらを了承した。

2号正会員については、内閣府への移行認可の申請時に「法人は一般社団法人の社員になることはできない」との見解が示され、当協会としては「法人として加入している一人以外は、現場での普及啓発事業の推進の観点から、すべて個人の加入として認めていた」旨の説明を行い、定数及び会員名簿上、個人会員が明確にわかるようにすることとしたものである。

協会としては県支部会ごとに会員名簿を法人会員と個人会員に区別して管理するものの、会の運営や会員数を維持することに支障がない旨を確認した。

第27期(平成24年度)

事業報告書(案)の

承認に関する件

法人の設立及び定款改正を承認

第27期は、新法人設立に向けて準備を進めた。これにより地域ブロック会の設立や県単位での支部会の設立などの準備に向けての動きが活性化した。

また、引き続き事業従事者に対する研修制度「ダストコントロール業務従事者指導監督者講習会」が2月と3月に、仙台、名古屋、福岡の3会場で実施され、191名が受講。190名が講習会終了後の試験に臨み、全員が合格した。

懸案となっている性能検査事業の実施について大詰めを迎え、具体的な実施のための審議機関として、ダストコントロール製品性能検査検討小委員会が実施され、2014年5月には導入の見通しができたことなどが報告された。

環境に配慮した充電電池のリサイクルシステムについては、平成25年から一部の会員社で実施されている。

協会統一の事業であるゴミゼロ事業については全国で23,503名が参加し、対外的な評価を得るために、関係自治体等の地域と連携して事業を実施した地域も多くみられた。

27期収支計算書(案)の承認に関する件

第27期(平成24年度)の収支計算書(案)について、配布資料をもとに審議し、木田稔監事による会計監査を受けた旨報告書を提示し、全会一致で承認した。決算の概要は次ページ別掲の通り。

第4号議案

新法人の設立及び定款改正を承認

平成25年度（平成25年6月1～2日）の事業報告書（案）及び収支計算書（案）の承認に関する件

当初、新法人設立日を当協会の事業年度開始日である平成25年6月1日に予定していたが、当日は土曜日で法務局が閉庁のため、設立登記申請を6月3日（月）に行った。

そのために、28期（平成25年度6月1日～2日）間の事業報告（案）並びに収支計算書（案）審議され、議場はこれを了承した。尚、収支計算書については、期間中の実施事業がないため、決算額はゼロとして処理した。

2号正会員入会状況

入会申込日 24. 12. 19
社名・店名 ダスキンシャトル東京 三鷹店
代表者 戸松 慎一
住所 〒181-0013
電話 東京都三鷹市下連雀9-3-27
0422-45-7543

入会申込日 24. 12. 19
社名・店名 ダスキンシャトル東京 三鷹店
代表者 星 昇次郎
住所 〒230-0044
電話 神奈川県横浜市鶴見区弁天町3-8-2F
045-508-6446

入会申込日 25. 5. 2
社名・店名 大丸実業有限会社
代表者 藤崎 輝男
住所 〒893-0031
電話 鹿児島県鹿屋市川東町7204-6
0994-44-3155

第27期収支決算 平成24年6月1日～平成25年5月31日

勘定科目	予算額	決算額	勘定科目	予算額	決算額
I. 事業活動収支の部			II. 投資活動収支の部		
特定資産運用収入	25,000	6,212	投資活動収入		
入金収入	30,000	6,000	特定資産取崩収入	10,000,000	3,500,000
会費収入	57,797,000	58,697,009	投資活動収入 計	10,000,000	3,500,000
事業収入	3,937,000	3,824,300	投資活動支出		
雑収入	3,000	3,357	特定資産取得支出	712,500	712,500
事業活動収入合計	61,792,000	62,536,878	投資活動支出 計	712,500	712,500
事業活動支出			投資活動収支差額	9,287,500	2,787,500
会合会費支出等	9,641,000	9,578,545	III. 予備費支出	500,000	0
研究開発費支出	5,870,000	219,280	当期収支差額	△8,200,500	△4,296,700
広報事業費支出	6,158,000	5,001,690	前期繰越収支差額	19,220,000	12,566,253
地域活動事業費支出	8,000,000	13,856,948	次期繰越収支差額	11,019,500	8,269,553
教育研究事業費支出	4,780,000	4,298,249			
事業費支出 計	34,449,000	32,954,712			
管理費支出					
管理費支出 計	44,331,000	36,666,366			
事業活動支出合計	78,780,000	69,621,078			
事業活動収支差額	△16,988,000	△7,084,200			

第27期（平成24年度）の収支計算書（案）について、配布資料をもとに審議し、協会監事の木田稔公認会計士による会計監査を受けた旨の報告書を提示し、全会一致で承認した。

多数の来賓を迎え、懇親パーティー挙行

総会終了後には、恒例となった懇親パーティーが挙行された。パーティーには総会出席者並びに賛助会員など来賓多数が集い、会場は終始和やかな雰囲気包まれた。翌日は親睦のゴルフ大会が行われ、36名が参加した。



開会の挨拶をする星野副理事長



小野木副理事長による乾杯の音頭
来賓を代表して挨拶する原芳省
平田理事の挨拶で中絶



親睦のゴルフ大会

平成25年度第1回理事会開催

通常総会の開催に先立ち、山村理事長が「一般社団法人の会議開催」宣言の後、「経済は上向きとはいえ、間近に迫った消費税率の引き上げなどの課題は山積みだが、レンタルの現場では皆が頑張っている。この事業に参加し、ダストコントロールを生活の糧にしている人たちのためにも、我々はいち早く頑張る必要がある」旨の挨拶を行い、審議に移った。

通常総会上程議案承認

平成25年度の通常総会等の進行に関する案件が審議された後、上程議案である、新法人の設立及び定款改正に関する件、第27期（平成24年度）の事業報告書（案）及び収支計算書（案）、第28期（平成25年6月1日～2日）の事業報告書（案）、および収支計算書（案）の承認に関する件など、審議内容等の最終調整が行われた。

新理事の顔ぶれ決まる！

新たに理事4名、監事1名を選任
副理事長に星野氏、小野木氏就任

新法人設立に当り、山村理事長をはじめ17名の理事、2名の監事が就任した。新理事には、サニクリーンから加藤豊明氏、クリーン・マットの田中智之氏、アスワンの若菜秀夫氏、リプライの安藤博章氏の4名が加わり、監事には藤倉まなみ氏を加え、総勢19名となった。

新役員の顔ぶれは別表の通り。引き続き、副理事長についての選任が行われ、旧法人からの課題を継続していることから、星野至宏氏、小野



リプライ 安藤博章氏
監事 藤倉まなみ氏

木孝二氏の2名を、専務理事には高橋一夫氏を選任した。また、常務理事については、常務理事会を廃止したことから置かないこととした。

一般社団法人日本ダストコントロール協会 新役員名簿

理事（理事長）	山村 輝治
株式会社ダスキン 代表取締役社長	
理事（副理事長）	星野 至宏
株式会社サニクリーン 代表取締役社長	
理事（副理事長）	小野木 孝二
株式会社トーカイ 代表取締役社長	
理事	丸山 晴男
年金福祉信用保証株式会社 取締役	
理事	平田 寛一
株式会社エルゼ 代表取締役社長	
理事	越智 隆
株式会社白洋舎 執行役員 クリーンサービス事業部長	
理事	宮島 賢一
株式会社ダスキン 専務取締役	
理事	白井 忠彦
株式会社トーカイ 常務取締役	
理事	加藤 豊明
株式会社サニクリーン 代表取締役専務	
理事	田中 智之
市衛生研究所 所長	
理事	堀 雅宏
元横浜国立大学 教授	
理事	成毛 義光
日本エンドレス株式会社 代表取締役社長	
理事	福原 章
クリーンテックス・ジャパン株式会社 代表取締役会長	
理事	田中 信之
株式会社クリーン・マット 代表取締役社長	
理事	若菜 秀夫
株式会社アスワン 代表取締役社長	
理事	安藤 博章
株式会社リプライ 代表取締役社長	
理事（専務理事）	高橋 一夫
一般社団法人日本ダストコントロール協会 事務局長	
監事	木田 稔
監査法人グラヴィタス 代表社員・公認会計士	
監事	藤倉 まなみ
桜美林大学 教授	



DC日本ダストコントロール協会

賛助会員の入会

新たに、千葉県船橋市に本社を置く、日本建機環境エンジニアリング株式会社が賛助会員として入会したい旨の申請があり、議場はこれを了承した。

日本建機環境エンジニアリング株式会社
千葉県船橋市山手1-1-1
代表取締役社長 丸山孝彦

ダストコントロール製品の性能検査事業 2014年5月に一部運用スタート

家田小委員長より性能検査事業の進捗状況について説明が行われ、工程表が提示された。ボーケンBOKEN（旧紡績検査協会）との委託契約を経て2014年5月に運用をスタートする予定。試験はダストコン協会のオーダーメイド試験とし、協会が窓口になって実施し、その方法や料金、試験結果の表示方法などはこれから具体的に決めることが承認された。

- 【出席者】
- 山村輝治理事長（ダスキン・代表取締役社長）
 - 星野至宏副理事長（サニクリーン・代表取締役社長）
 - 小野木孝二副理事長（トーカイ・代表取締役社長）
 - 丸山晴男理事（年金福祉信用保証・取締役）
 - 平田寛一理事（エルゼ・代表取締役社長）
 - 越智隆理事（白洋舎・執行役員 クリーンサービス事業部長）
 - 宮島賢一理事（ダスキン・専務取締役）
 - 白井忠彦理事（トーカイ・常務取締役）
 - 加藤豊明理事（サニクリーン・代表取締役専務）
 - 田中智之理事（市衛生研究所・所長）
 - 堀雅宏理事（元横浜国立大学・教授）
 - 成毛義光理事（日本エンドレス・代表取締役社長）
 - 福原章理事（クリーンテックス・ジャパン・代表取締役会長）
 - 田中智之理事（クリーン・マット・代表取締役社長）
 - 若菜秀夫理事（アスワン・代表取締役社長）
 - 安藤博章理事（リプライ・代表取締役社長）
 - 高橋一夫専務理事（日本ダストコントロール協会）
 - 木田稔監事（グラヴィタス・代表社員・公認会計士）
 - 藤倉まなみ監事（桜美林大学・教授）
- オブザーバー
- 岩田浩治委員長（ダスキン・取締役 クリーン・ケア部 日本地域担当）
 - 岩田浩治技術委員長（サニクリーン・商品サポート本部 品質技術部 部長）
- 【会議開催状況】
- 総務委員会 / 5月29日・7月3日
 - 技術委員会 / 6月11日・8月23日
 - 定款修正検討小委員会 / 6月12日・9月5日

お知らせ

ダストコントロール事業を焦点とした
業界初の講演会

MAT ACADEMY®

特別講演会開催

当協会賛助会員であるクリーンテックス・ジャパン主催の講演会が実施される。ランドリー業界 25 年の経験を持ち、最高峰のトレーナーと称された、ロナルド・エバンス氏を講師に迎え、ダストコントロールの本場アメリカにおける最新のノウハウを交えながら、「日本のダストコントロールを再燃させるために、あなたは今、何ができるのか？」をテーマに講演する。

日時：11月30日（土）
13時30分～16時

会場：神戸国際会議場

参加費：6000 円

申し込み締め切り
2013年10月31日（木）まで
マットアカデミー事務局
☎ 078・991・3301
加藤・山岡・浜崎様まで直接申し込み

全国地域ブロック会長・都道府県支部長会議開催



通常総会に先立ち、全国地域ブロック会長並びに都道府県支部長、本部役員、総会代議員他82名が参加して、「全国地域ブロック会長・都道府県支部長会議」が開催された。山村理事長による挨拶の後、「新法人の設立及び定款改正に関する件」について高橋専務理事より説明があり、その後、武田総務委員長が「よきライバルはよき仲間」という目的で組織を変更したが、県単位の支部会活動をさらに広げていきたい旨を述べた後、各地域ブロック会の会長より、現在の活動状況及び今後の活動方針などを披露した。

地域ブロック会長による現状報告

北海道地域ブロック会 大久保会長



『出会ったときの会員同士の挨拶の推進』を目標に、勉強会や安全運転講習会、懇親会を中心に事業を展開し、総会の後に親睦を兼ねたゴルフコンペを実施している。今後はボウリング大会など、さらに交流を深めるイベントを開催していきたい。支部運営での課題は今のところ出ていない。

東北地域ブロック会 山内会長



私事で10年ダスキン協会を離れていたが、かつて県単位で行われていた頃に参加していた。そのイメージにどこまで戻せるのかが課題になっている。役員は決まったものの、まだ会員同士が噛み合っていないのが現実で、いささか不安になっている。初めての顔合わせで和らげながらどう交流していくのか、役員の方々の協力を仰ぎながら、懇親会、ボウリング大会の復活など、まず県単位の活動から充実させていきたい。

北関東地域ブロック会 山本会長



埼玉、栃木、群馬から茨城も加わり4県に広がり、最初の会議は32名が出席した。まだ見えてこないという意見があったが、昨年までの行事をこなす中で、ひとつひとつ具体的に何をやるのか問題を解決していきたい。交通安全講習会、ボウリング大会、親睦ゴルフ、ゴミゼロ事業さらに2号会員の親睦をはかり、社会貢献事業なども実施したい。また、シュミレーションゲームを取り入れた、全員参加型の安全運転講習会は引き続き実施したい。

南関東地域ブロック会 竹内会長



千葉、神奈川、東京を擁し、もともと3支部とも活発な活動総会を行っていたことから、先日の総会では、参加人数を増やす工夫を目標にした。東京ではゴミ拾いの後に親睦会を行っているが、1回の費用を抑え、数回で実施することにより、参加人数を増やすなどして、協会への帰属意識を高めた。ブロック役員会の頻度を高め、県支部会のバックアップを行いたい。

甲信越地域ブロック会 神谷会長



もともと2号会員の活動が活発な地域。先日総会が開催され、どの地区も交通安全講習会、接客マナー講習会、ゴミゼロ事業を3本柱に確実に推進していくことで確認した。更に県単位での活動をより活発にして、ボウリング大会やゴルフコンペなどの親睦を深めるイベントを実施したい。

東海北陸地域ブロック会 奥村会長



ボウリング、ゴミゼロ、交通安全講習会といった、今までの事業を踏襲したい。また従前からあった会員格差が事業の規模の格差につながる可能性があるが、これを各県で実施できることを推進するのが、今年度の大きな目標になる。支部へ向けた会計管理などのフォーマットが欲しい。

近畿地域ブロック会 山田会長



会議の回数は増えている。さらに11月親睦ゴルフ大会、4月には大阪と京都でボウリング大会を実施し91名が参加。5月には「あかねで煙草ボーイ捨て活動」を予定していたが、雨のため中止になり、参加した158名で吉本新喜劇を観劇した。吉本の観劇は初の試みとして実施したが、多数の参加者があったので今後も継続したい。今年度は「あかねで煙草ボーイ捨て活動」を是非実施したい。

中国四国地域ブロック会 水野会長



各県の会員数の実態調査をまず実施した。事務局に問い合わせをして最終的に会員数を確定したが、これが大きな事業であった。6月には総会の後、合同のブロック会を実施。各県の事業については、統一することは難しく、各県のオリジナリティを尊重してゆく。地域貢献活動としてゴミゼロ以外に地域清掃活動を実施し、ボウリング大会や懇親会を各県で実施する予定。9県でエリア的にもハンディがあり、地域差温度差は実感している。その中で、各県がやるべき活動を確立しあった。名刺交換会を実施する意見も四国であり、「名刺交換会」と言う名目のもとでの懇親会を考え、多くの方の参加を望んでいる。

九州地域ブロック会 岩本会長



ゴミゼロ、献血活動を継続してゆくと、課題は以下の3つある。
1 ブロックを主導に行われてきたが県単位での活動に戸惑いがある。
2 会員数が減少している。増やす取り組みが必須。協会に参加することによるメリットをもっと訴えかけられないか。交通安全ステッカーの活用や、協会へ参加している旨を車やチラシに刷り込むなど会員獲得に向けた取り組みが急がれる。
3 昨今の低価格競争などの現状があり、商品やサービスの品質向上など、付加価値をお客様に提供することをPRできないものか。

各ブロック会長の報告後、武田総務委員長により総括が行われ、「全体の意見の中で、昔の県単位に戻れたらいいが、それができるか否か不安も多い」という意見があったが、一般社団のため公益性は、今までよりは深く問われないので、より親睦を深める活動を実施して欲しい。また、高橋専務理事より、平成19・20・21年の3年間にわたって協会の今後について議論し、その結果として、22年3月の支部長合同会議ではダストコントロール公益事業活性化推進基本計画を定めた。協会として、地域として、会社として何をすべきかを考えた……これが別表の「県支部会等における事業の実施活動参考例」である。さらには名刺に協会の会員マークを入れるなど、今後の事業として活用していただきたい旨を付け加えた。

県支部会等における事業の実施活動参考例

- 1 ゴミゼロ事業
 - ・協会単独事業(5/30)(協会のほかの事業との同時開催を含む)・地元市町村、関係団体に参加又は連携した事業
- 2 各種講演会、講習会事業
 - ・環境関係・交通安全関係・健康関係・従業員教育、接客教育など
- 3 植樹、植林緑化事業
- 4 お掃除教室
- 5 関係団体に対する寄付
 - ・震災、エイズ、難病、福祉関係、その他、各種公益事業への協賛
- 6 会員間の親睦、交流事業
 - ・ボウリング、ゴルフ、会食その他を通じた親睦、交流事業
- 7 その他
 - ・支部長表彰・献血・ボランティア活動・CM(新聞、テレビ、雑誌等)

地域ブロック会・都道府県支部会役員名簿

北海道地域ブロック会 ブロック会役員			
会長	大久保 浩	(株)ダスキン北海道地域本部	
副会長	井元 晋明	北海リースキン(株)	
同	池田 浩	(株)サニクリーン北海道	
事務局長	小川 博資	札幌白洋舎(株)	
監事	五十嵐 修	(株)光生舎(リースキン)	
役員	湯元 憲治	(株)ダスキン北海道地域本部	
同	森山 一臣	(株)サニクリーン北海道	
同	前元 政芳	ダスキン網走	
同	岡本 伸之	北海リースキン(株)	
同	森 喜代二	(株)サニクリーン北海道	
県支部会役員			
■北海道			
支部長	大久保 浩	(株)ダスキン北海道地域本部	
副支部長	井元 晋明	北海リースキン(株)	
同	池田 浩	(株)サニクリーン北海道	
会 計	小川 博資	札幌白洋舎(株)	
東北地域ブロック会 ブロック会役員			
会長(福島県)	山内 政人	(株)同仁社(リースキン)	
副会長(宮城県)	飯田 有廣	(株)ダスキン東北地域本部	
副会長(宮城県)	後藤 忠	(株)サニクリーン東北	
事務局長(宮城県)	大松澤 信	(株)白洋舎 レンテックス東部事業所 仙台営業所	
監事(山形県)	半田 秀樹	東北リースキン(株)	
役員(宮城県)	鈴木 良夫	(株)日本オイルサーキット(リースキン)	
同(山形県)	小松 政樹	(株)同仁社(リースキン)	
同(岩手県)	山崎 伸浩	(株)ダスキン東北地域本部	
同(宮城県)	岩野 泰久	(株)エルゼ 東日本支店	
同(山形県)	井上 新一	(株)井上リース商事(リースキン)	
県支部会役員			
■青森県			
支部長	柿本 聡	(株)ダスキンカキモト	
副支部長	齊藤 貴志	東北リースキン(株)青森支店	
同	田中 誠	(有)ダスキン弘前	
会 計	柳 謙司	(株)ダスキン東北地域本部 青森エリア	
■岩手県			
支部長	佐藤 寧	(株)サニクリーン東北 盛岡営業所	
副支部長	藤澤 正幸	ダスキン紫波支店	
同	齊藤 俊一	みちのくキャンティーン(株)(リースキン)	
会 計	山崎 伸浩	(株)ダスキン東北地域本部 岩手エリア	
■秋田県			
支部長	小松 彰	(株)ダスキン北秋	
副支部長	金山 浩実	クリーンセーフティ・カネヤマ(白洋舎)	
同	佐々木 寿子	(株)秋田中央リース(リースキン)	
会 計	川俣 敬浩	(株)ダスキン東北地域本部 秋田エリア	
■宮城県			
支部長	鈴木 良夫	(株)日本オイルサーキット(リースキン)	
副支部長	阿部 亮	ダスキン日和支店	
同	後藤 忠	(株)サニクリーン東北	
同	飯田 有廣	(株)ダスキン東北地域本部	
同	梅本 昌宏	(株)ダスキン東北地域本部	
同	岩野 泰久	(株)エルゼ 東日本支店	
会 計	大松澤 信	(株)白洋舎 レンテックス東部事業所 仙台営業所	

■山形県			
支部長	半田 秀樹	東北リースキン(株)	
副支部長	大谷 学	(株)ダスキン東北地域本部 山形エリア	
会 計	井上 新一	(株)井上リース商事(リースキン)	
■福島県			
支部長	山内 政人	(株)同仁社(リースキン)	
副支部長	梶谷 英男	(株)ダスキン東北地域本部 福島エリア	
会 計	小松 政樹	(株)同仁社(リースキン)	
北関東地域ブロック会 ブロック会役員			
会長(群馬県)	山本 等	(株)セシオ(リースキン)	
副会長(埼玉県)	栗原 隆	(株)サニクリーン東京	
同(茨城県)	佐藤 智	(株)トカイ 戸田支店	
同(茨城県)	大久保 裕行	(株)ダスキン北関東地域本部	
監査(埼玉県)	岩野 泰久	(株)エルゼ 東日本支店	
事務局長(埼玉県)	大崎 隆雄	(株)ダスキン北関東地域本部	
役員(栃木県)	大野 泰範	(株)ダスキン北関東地域本部	
同(埼玉県)	市ノ渡 光子	ダスキンニューコスモ	
同(茨城県)	正田 勝治	(株)サニクリーン東京	
同(栃木県)	阿部 幸央	ダスキンアベニュー	
同(群馬県)	武井 清人	(株)セシオ(リースキン)	
同(埼玉県)	木村 嘉雄	(株)白洋舎 レンテックス東部事業所 埼玉営業所	
県支部会役員			
■茨城県			
支部長	正田 勝治	(株)サニクリーン東京	
副支部長	平野 光由	(株)日本ドライ 茨城支店(リースキン)	
同	久賀谷 健一	(株)クガヤ(エルゼ)	
同	高 義久	ダスキン土浦	
会 計	萩谷 公康	ダスキンエコー	
■栃木県			
支部長	阿部 幸央	ダスキンアベニュー	
副支部長	萩島 照一	宇都宮ピカット(エルゼ)	
同	橋本 崇	(株)セシオ(リースキン)	
同	長谷川 貴広	(株)サニクリーン宇都宮	
同	若菜 克友	(株)アスワン	
会 計	小堀 義広	ダスキンつばさ	
■群馬県			
支部長	武井 清人	(株)セシオ(リースキン)	
副支部長	戸部 誠	(株)白洋舎 レンテックス東部事業所 群馬営業所	
同	唐沢 明	(株)サニクリーン前橋	
同	青山 豊	ダスキン渡良瀬	
同	山根 明	ダスキン山根	
会 計	岡本 謙一	ダスキンスーパー高松	
■埼玉県			
支部長	木村 嘉雄	(株)白洋舎 レンテックス東部事業所 埼玉営業所	
副支部長	藤田 浩之	ダスキン戸田	
同	沼田 直樹	ダスキンアトミック	
会 計	萩原 正	ダスキンネオスマイル	
南関東地域ブロック会 ブロック会役員			
会長(東京都)	竹内 俊文	(株)ダスキン東京地域本部	
副会長(東京都)	田中 秀安	(株)リースキン・シュワフ	
同(神奈川県)	小雀 勝美	(株)サニクリーン東京	
事務局長(東京都)	松田 孝	(株)ダスキン東京地域本部	

同 (東京都)	村木 英明	(株)サニクリーン東京
監 事 (東京都)	津留崎 亮	(株)トーカイ リースキン事業部
役 員 (東京都)	山本 岳史	(有)やま(ダスキン)
同 (東京都)	宮本 和郎	(株)エルゼ
同 (東京都)	加賀 敦	(株)ダスキン 東京地域本部
同 (神奈川県)	同本 千穂	(株)ダスキン 関東東地域本部
同 (千葉県)	若林 督憲	(株)白洋舎 レンテックス東部事業所 千葉営業所

県支部会役員

■千葉県		
支 部 長	高須 秀悦	(株)サニクリーン東京
副支部長	飯野 秀治	(株)トーカイ 千葉営業所
同	瀬戸井 仁	(株)ダスキン 南関東地域本部 千葉西エリア
同	谷 英之	(株)ダスキン 北関東地域本部 千葉東エリア
同	牧野 保	(有)ダスキン茂源
同	川上 伸夫	(株)シモウサ ダスキン近江支店
会 計	若林 督憲	(株)白洋舎 レンテックス東部事業所 千葉営業所

■東京都		
支 部 長	竹内 俊文	(株)ダスキン 東京地域本部
副支部長	松田 孝	(株)ダスキン 東京地域本部
同	岡納 悟朗	(株)サニクリーン東京
同	加賀 敦	(株)ダスキン 東京地域本部
同	田中 秀安	(株)リースキン・シェルフ
同	宮本 和郎	(株)エルゼ
同	上坂 哲也	(株)白洋舎 レンテックス東部事業所
同	津留崎 亮	(株)トーカイ リースキン事業部
同	田口 勝則	日本エンドレス(株)
同	飯田 俊哉	(株)レンタルサービス(ダスキン)
同	穂積 啓三	(株)ダスキンほづみ
同	山本 岳史	(有)やま(ダスキン)
会 計	村木 英明	(株)サニクリーン東京

■神奈川県		
支 部 長	神田 啓邦	(株)トーカイ 町田支店
副支部長	南 公登	(株)ダスキン 南関東地域本部 神奈川中央エリア
同	同本 千穂	(株)ダスキン 南関東地域本部
会 計	小雀 勝美	(株)サニクリーン東京

甲信越地域ブロック会

ブロック会役員		
会 長 (新潟県)	神谷 武彦	(株)ダスキン 北関東地域本部 新潟エリア
副会長 (新潟県)	丸山 譲	(株)サニクリーン甲信越
同 (山梨県)	渡辺 一也	(株)山梨リース
事務局長 (山梨県)	吉本 龍登	(株)ダスキン 北関東地域本部 山梨エリア
監 事 (新潟県)	富田 正博	中越クリーンサービス(株)(リースキン)
役 員 (長野県)	宮下 忠興	(株)ダスキン・ナンシン
同 (長野県)	上嶋 徳久	十字屋リース(株)(リースキン)
同 (新潟県)	寺沢 義孝	(株)ダスキン西信原
同 (山梨県)	山口 明夫	(株)ダスキン山梨
同 (長野県)	井上 尚紀	(株)ダスキン 北関東地域本部 長野エリア
同 (長野県)	黒岩 隆之	(株)サニクリーン甲信越

県支部会役員

■新潟県		
支 部 長	神谷 武彦	(株)ダスキン 北関東地域本部 新潟エリア
副支部長	富田 正博	中越クリーンサービス(株)(リースキン)
同	丸山 譲	(株)サニクリーン甲信越
会 計	寺沢 義孝	(株)ダスキン西信原
■山梨県		
支 部 長	山口 明夫	(株)ダスキン山梨
副支部長	渡辺 一也	(株)山梨リース(リースキン)
同	小出 崇史	(株)サニクリーン甲信越 甲府営業所
会 計	吉本 龍登	(株)ダスキン 北関東地域本部 山梨エリア
■長野県		
支 部 長	井上 尚紀	(株)ダスキン 北関東地域本部 長野エリア
副支部長	上嶋 徳久	十字屋リース(株)(リースキン)
同	黒岩 隆之	(株)サニクリーン甲信越
会 計	宮下 忠興	(株)ダスキンナンシン

東北地域ブロック会

ブロック会役員		
会 長 (愛知県)	奥村 文明	(株)サニクリーン名古屋
副会長 (三重県)	横内 康晴	(株)ダスキン 東海・北陸地域本部
同 (愛知県)	楠 芳高	光田屋(株)(リースキン)
同 (石川県)	加村 大成	(株)ダスキン 東海・北陸地域本部
事務局長 (愛知県)	梶田 正秋	(株)サニクリーン名古屋
監 事 (愛知県)	田中 恵人	(株)白洋舎 レンテックス西部事業所 名古屋営業所
役 員 (石川県)	河崎 裕之	日本海リース(株)(リースキン)
同 (富山県)	山本 啓一	(株)サニクリーン北陸
同 (福井県)	吉田 隆	ダスキン小浜

県支部会役員

■岐阜県		
支 部 長	山田 邦博	(株)邦栄(リースキン)
副支部長	榎本 和弘	(株)ダスキン 東海・北陸地域本部 岐阜エリア
同	石田 信敬	(株)サニクリーン名古屋 岐阜営業所
会 計	北洞 雅丈	(株)トーカイ 羽島本部
■静岡県		
支 部 長	斉藤 勝彦	(株)ダスキン 東海・北陸地域本部 静岡西エリア
副支部長	細島 啓一	(株)トーカイ 浜松支店
会 計	梶谷 尚央	(株)ダスキン 東海・北陸地域本部

■愛知県		
支 部 長	奥村 文明	(株)サニクリーン名古屋
副支部長	楠 芳高	光田屋(株)(リースキン)
同	横内 康晴	(株)ダスキン 東海・北陸地域本部
会 計	梶田 正秋	(株)サニクリーン名古屋
■三重県		
支 部 長	永井 達也	(株)サニクリーン名古屋 鈴鹿営業所
副支部長	土橋 勝也	(株)ダスキン 東海・北陸地域本部 三重エリア
同	木田 明成	(株)トーカイ 三重支店
会 計	岸上 亮一	(株)サニクリーン名古屋 松阪営業所

■富山県		
支 部 長	山本 啓一	(株)サニクリーン北陸
副支部長	堀 達人	(株)ダスキン富山
同	城戸 勝文	日本海リース(株)(リースキン)
会 計	久世 和幸	(株)富山県復興センター(リースキン)

■石川県		
支 部 長	河崎 裕之	日本海リース(株)(リースキン)
副支部長	岩田 光永	(株)サニクリーン北陸
同	松本 範夫	日光商事(株)(白洋舎)
同	谷本 大幸	(株)ダスキン北陸
会 計	北井 守	(株)ダスキン 東海・北陸地域本部 石川エリア

■福井県		
支 部 長	吉田 隆	(株)ダスキン小浜
副支部長	八木 繁弘	(株)ダスキン福井
会 計	杉堀 清一	江守企画(株)(リースキン)

近畿地域ブロック会

ブロック会役員		
会 長 (大阪府)	山田 昇	(株)サニクリーン近畿
副会長 (兵庫県)	溝口 誠	(株)トーカイ 大阪支店
同 (大阪府)	藤岡 利義	(株)ダスキン 近畿地域本部
事務局長 (兵庫県)	助島 仁	(株)サニクリーン近畿
会 計 (大阪府)	三好 正人	(株)白洋舎 レンテックス西部事業所
監 事 (兵庫県)	吉田 誠	(株)エルゼ 西日本支店
役 員 (奈良県)	市川 隆信	前川(株)(リースキン)
同 (大阪府)	松井 信博	(株)ダイキチ
同 (大阪府)	高木 忠男	ナニワ商事(株)(リースキン)
同 (滋賀県)	櫻井 寛	(株)ダスキン近畿地域本部
同 (京都府)	櫻井 寛	(株)ダスキン近畿地域本部
同 (和歌山県)	小杉 光	(株)ダスキン 近畿地域本部

県支部会役員

■滋賀県		
支 部 長	櫻井 寛	(株)ダスキン 近畿地域本部
副支部長	吉田 眞砂子	近江リース(株)(リースキン)

■京都府		
支 部 長	櫻井 寛	(株)ダスキン 近畿地域本部
副支部長	上原 孝幸	(株)サニクリーン近畿
会 計	入江康一郎	(株)白洋舎 レンテックス西部事業所

■大阪府		
支 部 長	山田 昇	(株)サニクリーン近畿
副支部長	藤岡 利義	(株)ダスキン 近畿地域本部
同	高木 忠男	ナニワ商事(株)(リースキン)
会 計	三好 正人	(株)白洋舎 レンテックス西部事業所

■兵庫県		
支 部 長	溝口 誠	(株)トーカイ 大阪支店
副支部長	助島 仁	(株)サニクリーン近畿
会 計	吉田 誠	(株)エルゼ 西日本支店

■奈良県		
支 部 長	市川 隆信	前川(株)(リースキン)
副支部長	有岡 稔晃	(株)サニクリーン近畿

■和歌山県		
支 部 長	小杉 光	(株)ダスキン 近畿地域本部
副支部長	櫻田 国俊	(株)ケイ・コーポレーション(リースキン)

中国四国地域ブロック会

ブロック会役員		
会 長 (鳥取県)	水野 治郎	水野商事(株)(リースキン)
副会長 (広島県)	中元 雅之	(株)サニクリーン広島
同 (愛媛県)	由本 新	(株)サニクリーン四国
同 (広島県)	松山 正行	(株)ダスキン 中国・四国地域本部
事務局長 (高知県)	川口 広行	(株)ダスキン 中国・四国地域本部
監 事 (岡山県)	国生 義和	日本リースキン(株)
役 員 (山口県)	榎木屋 浩	(株)サニクリーン広島 宇部支店
同 (鳥根県)	森澤 佳典	(株)ダスキン 中国・四国地域本部
同 (香川県)	藤澤 利勝	日本リースキン(株)
同 (徳島県)	谷川 廣宣	(株)ダスキン 中国・四国地域本部
同 (高知県)	小原 宏	(株)ケミサプライ高知(白洋舎)
同 (岡山県)	松本 千明	(株)サニクリーン岡山
同 (鳥根県)	本川 靖明	西日本リネンサプライ(株)(リースキン)

県支部会役員

■鳥取県		
支 部 長	水野 治郎	水野商事(株)(リースキン)
副支部長	税所 省二	(株)サニクリーン岡山
同	神崎 富行	(株)ダスキン 中国・四国地域本部
会 計	松尾 享紀	水野商事(株)(リースキン)
■島根県		
支 部 長	森澤 佳典	(株)ダスキン 中国・四国地域本部
副支部長	本川 靖明	西日本リネンサプライ(株)(リースキン)
会 計	阿部 靖	(株)サニクリーン広島 松江支店
■岡山県		
支 部 長	国生 義和	日本リースキン(株)
副支部長	松本 千明	(株)サニクリーン岡山
会 計	山本 忠志	(株)ダスキン 中国・四国地域本部

■広島県		
支 部 長	中元 雅之	(株)サニクリーン広島
副支部長	阿部 正宗	西日本リネンサプライ(株)(リースキン)
同	松山 正行	(株)ダスキン 中国・四国地域本部
会 計	竹田 満寛	(株)ダスキン 中国・四国地域本部

■山口県		
支 部 長	榎木屋 浩	(株)サニクリーン広島 宇部支店
副支部長	中井 基修	西日本リネンサプライ(株)(リースキン)
会 計	石川 貴彦	(株)ダスキン 中国・四国地域本部

■徳島県		
支 部 長	谷川 廣宣	(株)ダスキン 中国・四国地域本部
副支部長	板坂 好志	(株)ケミサプライ高知(白洋舎)
会 計	大林 恭輔	(株)ダスキン 中国・四国地域本部

■香川県		
支 部 長	藤澤 利勝	日本リースキン(株)
副支部長	山本 大介	(株)サニクリーン四国
同	宮田 信	(株)ダスキン 中国・四国地域本部
会 計	八田 正樹	日本リースキン(株)

■愛媛県		
支 部 長	由本 新	(株)サニクリーン四国
副支部長	渡部 健次	日本リースキン(株)松山営業所
同	今川 淳	(株)ダスキン 中国・四国地域本部
会 計	渡部 智	(株)サニクリーン四国

■高知県		
支 部 長	小原 宏	(株)ケミサプライ高知(白洋舎)
副支部長	川口 広行	(株)ダスキン 中国・四国地域本部
会 計	木村 浩司	(株)ダスキン 中国・四国地域本部

九州地域ブロック会

ブロック会役員		
会 長 (福岡県)	岩本 順一	(株)ダスキン 九州地域本部
副会長 (福岡県)	井上 耕一	(株)トーカイ リースキン事業部 九州支店
同 (福岡県)	橋渡 孝司	(株)サニクリーン九州
事務局長 (福岡県)	牧 洋光	(株)ダスキン 九州地域本部
監 事 (福岡県)	佐藤 公一郎	(株)サニクリーン九州
役 員 (福岡県)	田島 力男	(株)サニクリーン九州
同 (福岡県)	倉本 昭彦	(株)白洋舎 ユニフォームレンタル 福岡営業所
同 (福岡県)	三吉 茂孝	西日本リネンサプライ(株)(リースキン)
同 (宮崎県)	谷口 勝	西日本リースキン(株)
同 (福岡県)	藤堂 輝雄	(株)ダスキン 九州地域本部
同 (福岡県)	藤村 敏夫	(株)サニクリーン九州
同 (佐賀県)	小野 繁雄	(株)ダスキン 九州地域本部 佐賀エリア
同 (長崎県)	吉岡 勇治	(株)クリーン・マット
同 (熊本県)	浅尾 恵介	(株)ダスキン 九州地域本部 熊本エリア
同 (大分県)	平野 和夫	(有)大分リースキン
同 (宮崎県)	梅田 栄治	(株)サニクリーン九州 宮崎営業所
同 (鹿児島県)	妻鳥 智広	(株)ダスキン 九州地域本部 鹿児島エリア
同 (沖縄県)	富名腰 政彦	(株)サニクリーン九州 沖縄営業所

県支部会役員

■福岡県		
支 部 長	藤村 敏夫	(株)サニクリーン九州
副支部長	安永 貴典	(株)エルゼ 北九州営業所
会 計	長田 隆人	(株)ダスキン 九州地域本部 福岡中央エリア
■佐賀県		
支 部 長	小野 繁雄	(株)ダスキン 九州地域本部 佐賀エリア
副支部長	常松 孝章	ダスキン巨勢支店
会 計	中山 輝行	(株)サニクリーン九州 佐賀営業所

■長崎県		
支 部 長	吉岡 勇治	(株)クリーン・マット
副支部長	碓井 伸幸	(株)ダスキン 九州地域本部 長崎エリア
会 計	芝 克彦	(株)サニクリーン九州 諫早営業所

■熊本県		
支 部 長	浅尾 恵介	(株)ダスキン 九州地域本部 熊本エリア
副支部長	永井 伸一	(株)エルゼ 熊本営業所
会 計	館崎 幸徳	(株)サニクリーン九州 熊本北営業所

■大分県		
支 部 長	平野 和夫	(有)大分リースキン
副支部長	中田 俊彦	(株)ダスキン 九州地域本部 大分エリア
会 計	田中 文成	(株)サニクリーン九州 別府営業所

■宮崎県		
支 部 長	梅田 栄治	(株)サニクリーン九州 宮崎営業所
副支部長	片岡 孝光	(株)ダスキン 九州地域本部 宮崎エリア
会 計	片山 勇夫	(株)サニクリーン九州 宮崎南営業所

■鹿児島県		
支 部 長	妻鳥 智広	(株)ダスキン 九州地域本部 鹿児島エリア
副支部長	藤崎 輝男	大丸実業(有)(リースキン)
会 計	藤中 浩一	(株)サニクリーン九州 鹿児島南営業所

■沖縄県		
支 部 長	富名腰 政彦	(株)サニクリーン九州 沖縄営業所
副支部長	喜納 朝勝	(株)丸忠(リースキン)
会 計	時吉 治	(株)ダスキン 九州地域本部 沖縄エリア

PM2.5とダスコン

理事 堀 雅宏 (元横浜国立大学 教授)

ここ数年PM2.5という言葉が耳にされる機会が多くなったと思われる。

PM (Particulate Matter) とは浮遊粒子状物質 (粉じん) のことで私たちの扱うダストとは大いに関係がある。なぜ話題になるようになったか、ダストとどのような関係があるかについて解説する。

PM2.5とは

大気を漂う粒子状物質のうち、大きさ(直径)が2.5マイクロメートル (1/1000m) 以下のもの。工場のばい煙や自動車の排ガスなどから発生するほか、土壌や火山の噴煙など自然に由来するものもある。喫煙でも発生する。髪の毛の太さの30分の1程度と極めて小さいため、吸い込むと肺の奥まで入りやすく、肺がんやぜんそくを引き起こすリスクがあるとされる。国は「1立方メートルあたり日平均で35マイクログラム以下」を指針値としており、健康に影響が出る可能性があるとして「日平均70マイクログラム」を注意喚起のための暫定指針と定めた。なお、環境基準は守る義務のある法律であるのに対し、指針値はいわば推奨値である。

なぜ近年問題になったか

日本の都市大気は石炭燃料の時代に10~100マイクロメートルの大きな粉じんで汚染された時代を経て、対策が進み、自動車排ガスや光化学スモッグなどによる10マイクロメートル (PM10) 以下の浮遊粉じんが多くを占めるようになった。

日本でもこれまでこのPM10を測定し、1立方メートルあたり日平均で100マイクログラム以下を基準値としてきた。一方、中国では産業や車社会の発達と相まって、高濃度の粉じんが発生するようになり、これらを含む気団が偏西風や西風に乘って従来からの春先の黄砂に加えて日本に運ばれて来る量が無視できなくなってきた (図3)。もっともこれらの成分はわが国でもかつてはジーゼル排ガスや一部の工場排ガスからかなり排出され、現在もゼロではない。

現状はPM2.5が1立方メートルあたり日平均で35マイクログラム以下の基準値を超える日は指針値を、今年1~6月の間に9日上回ったことが分かった。九州など西日本を中心としたのべ26地点で観測された。夏の日本列島付近は太平洋高気圧が覆うため、大陸からの気流が流れ込みにくいが、秋から冬にかけて大陸からの気流が強まると、日本への影響が高まる可能性がある。

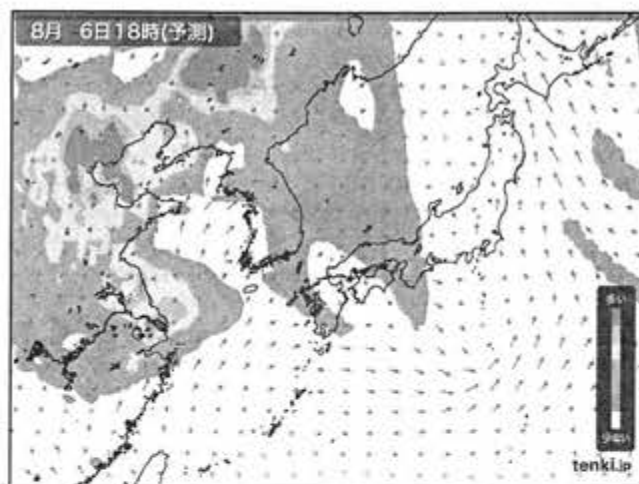


図3 日本気象協会によるPM2.5の予測

PMやダストの粒子径(大きさ)と吸入時の人体影響

粉じんは10~100マイクロメートルより大きければ発塵しにくく、いったん発塵して浮遊しても比較的速やかに沈降する。ダスコンのモップやマットで扱うダストはどちらかといえば10~100マイクロメートルものが多い。

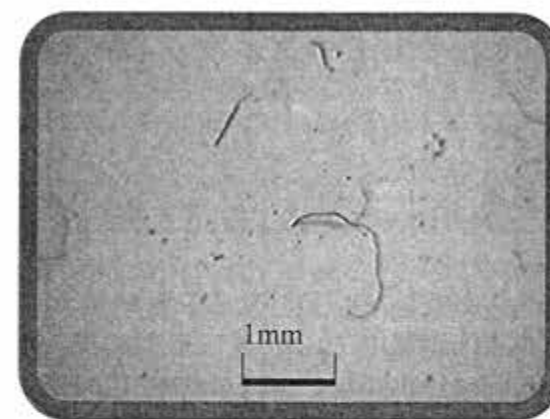
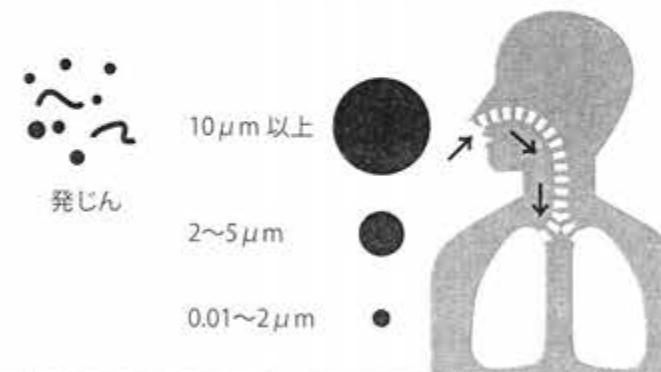


図1 室内の床上粉じんの顕微鏡写真 (繊維状から粒子状のPM2.5に近いものまで観測される)

図1は室内で床上に沈着したダストの写真である。繊維状のものや大きいものは個数は少ないが、容積、面積は大きく視覚的な全体の汚れを支配する。浮遊している小粒径のものはもっぱら空気清浄器の対象である。

浮遊しているPMをひとが吸入するとスギ花粉 (20~30マイクロメートル) を含むほぼ10マイクロ

図2 浮遊粒子の大きさと吸入時の沈着性



メートル以上のものは鼻毛でストップする (図2)。

しかし、それ以下のものはのどや上部気道に達し、とくに2.5マイクロメートル以下のものは気管支や肺胞に沈着し、ぜんそくの刺激を与えたり、肺門や肺胞に沈着し、そこから成分が吸収される。そこで現在はPM2.5を対象に規制するようになった。

どのような成分が含まれているか

季節、地域や発生源などによってやや異なるが、大阪沿岸地区での昨年4月のPM2.5が51 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ の濃度が観測された日の結果でみると、主成分は硫酸分が全体の40%、次いでアンモニア、有機炭素でタール分のようなものは約10%、次いで水溶性の有機物や黒い元素炭素[すす]である。無機塩ではこのほか硝酸塩、その1/10~1/100のカリウムやナトリウム、カルシウム、鉄やアルミの酸化物、鉛などの重金属はもっと少ないが検出される。このほか土壌由来のケイ酸分も含まれる。

このうち硫酸や硝酸の酸性や有機炭素の発がん性が懸念されている。

最後に

中国の大都市では35マイクログラムの基準を3~7倍上回っているといわれる。

日本ではこれほどではないが、70マイクログラムを超える日にはぜんそくになりやすい人は注意しなければならない。福岡市や日本気象協会などでもPM2.5の予報を出している。ダスコンで扱う粒子は通常この10倍から1000倍程度の大きさの沈降性粒子が主であるが、図1でみられるように2.5に近いものも含まれ、浮遊性のダストを除去する空気清浄器も用いられる時代でもあり、PM2.5にも関心を持ちたい。

発生源と暴露位置(鼻や口)が極端に隣接している居室環境では一旦発塵されれば一般に吸入性とされていない数十μmの粉塵も鼻を介さないで直接口から吸入され気管支に沈着される

シリーズ 防災

今日から始める私の防災 一人一人が心がける防災の心得です。

地震から
生き残れ!

地震や津波などの自然災害は、時として、想像を超える力で襲ってきます。しかし、日頃から防災対策をしておくことで、被害を少なくすることはできます。防災対策で大切なことは、自分の身の安全を守るために一人一人が取り組む「自助」。そのポイントを紹介します。

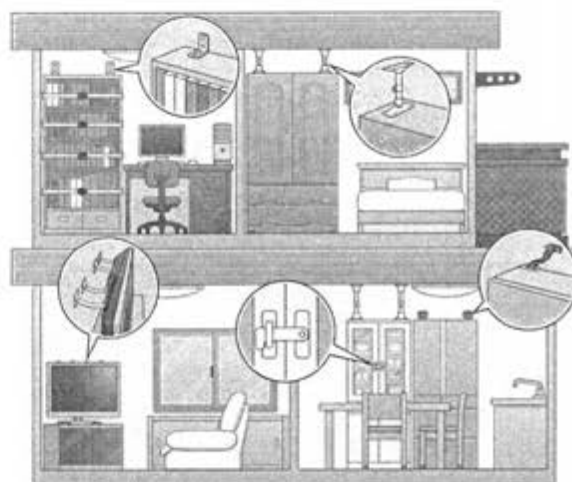
一番大切なのは、一人一人が取り組む防災

災害による被害をできるだけ少なくするためには、一人一人が自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や地方公共団体などが取り組む「公助」が重要だと言われています。その中でも基本となるのは「自助」、一人一人が自分の身の安全を守ることです。特に災害が発生したときは、まず、自分が無事であることが最も重要です。「自助」に取り組むためには、まず、災害に備え、自分の家の安全対策をしておくとともに、家の外において地震や津波などに遭遇したときの、身の安全の守り方を知っておくことが必要です。また、身の安全を確保し、生き延びていくためには、水や食料などの備えをしておくことも必要です。防災対策には、十分とか絶対大丈夫というものはありません。これから紹介する防災対策だけでなく、一人一人が、自分の周りにどのような災害の危険が及ぶのかを考え、その被害をできるだけ少なくするために必要な対策を講じることが重要です。

家の中の安全対策をしておく

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震などでは、多くの方が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしたりしました。大地震が発生したときには、「家具は必ず倒れるもの」と考えて、防災対策を講じておく必要があります。

寝室や子ども部屋などには、できるだけ家具を置かないようにし、家具を置く場合はなるべく背の低い家具にし、転倒防止対策をとりましょう。また、家具が倒れ



てけがをしたり、出入り口をふさいだりしないように、家具の向きや配置を工夫しましょう。家具は転倒したりしないように、壁に固定するなどの対策をしておきましょう。また、家具のほかにも、窓ガラスやペンダント式の照明、テレビ、電子レンジ、オープンなど、家の中には凶器になるものがたくさんあります。

地震の発生時、それぞれの部屋にどのような危険があるのかを考えて、対策をしておきましょう。また、手の届くところに、懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを備えておきましょう。懐中電灯は停電による暗闇を歩くときの必需品です。スリッパは割れたガラスなどの破片で足をけがをするのを防ぎます。ホイッスルは建物や家具の下敷きになった場合に救助を求めるためのもので、少しの息でもホイッスル音が出るので、救助する際の生息の目安になります。

(政府広報オンラインより掲載)

会員みなさんの 投稿をお待ちしています。

協会では会員の皆さんからのお便りをお待ちしています。協会活動への期待や要望、あるいは支部活動の現状報告など、日頃感じていることを書いてDCジャーナル宛お送りください。Eメールもしくはファクシミリで受け付けています。

E-mail info@dust-control.or.jp

FAX 03(6802)8692

今回の総会等の運営にご尽力いただいた総務委員をはじめとした関係各位に御礼申し上げます。
いよいよ新生・日本ダストコントロール協会がスタートしました。会員の皆様方には心新たに一致団結して業界の発展に邁進されますことを念じております。

今回の総会等には、1号正会員、代議員、地域ブロック会の代表の方々の多数のご出席をいただき厚く御礼申し上げます。総会後、懇親会においては、総会等にご出席いただいた皆様方や賛助会員の皆様方にもご参加いただき大変和やかにご懇談いただきました。

去る7月4日、軽井沢プリンスホテルで新法人設立後初の通常総会等が開催され、新法人の設立及び定款改正案、平成24年度事業報告及び決算案等を審議し、ご承認をいただきました。
また、同日、総会に先立ち全国地域ブロック会長・県支部長会議を開催し、新法人の設立及び定款改正と新法人発足に伴う地方組織及び事業の活性化策について協議を行ったところです。

編集後記